

これまでの当たり前を変えて
地球が変わる！ 未来を変える！

初版 2024. 9. 12
改訂 2024. 11. 22

SLICK POWER-MORTAR

新スリック・パワーモルタル

コンクリートポンプ専用
先行モルタル材

国土交通省 NETIS 登録 KK-180050-VE
兵庫県 190001・静岡県 1698・茨城県 C-20012
新技術・新工法登録



株式会社ケミウスジャパン

<http://chemiusjapan.co.jp>

本社 〒651-1502 神戸市北区道場町塩田 2303-2
TEL: 078-985-0039 FAX: 078-985-0036
関東支店 〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-14-2 池袋 2 丁目ビル 2F
TEL: 03-5953-1782 FAX: 03-5953-8966
技術研究所／工場 京畿道廣州市昆池岩邑五香里 166-4

先行材選考基準

コンクリートポンプ圧送に先立ち先行材が必要

近年の脱炭素への取り組みからもモルタルの削減が求められている。

先行材先行基準として、発注者、管理者、施工者、現場作業者にトータル的に配慮され納得する先行材。

先行材は使用後廃棄するものとはいえ生コン（固まるもの）に使用する。

使用から廃棄迄その後の構造物への悪影響の少ないもの、取り扱いが従来と変わらない先行材が好ましい。

現在従来モルタル（生コン工場出荷含む）が選択されている、品質上においても安全。使用者も扱い慣れている。

従来モルタルの問題は容積、運搬、廃棄量及び処分、コスト、先行水である。

従来モルタルの諸問題をクリアしたスリックパワーモルタルを御提案します。

従来モルタルとの違い

コンクリートポンプ専用に特化した先行モルタルの御提案

	従来モルタル		スリックパワーモルタル
	生コン工場出荷	それ以外のモルタル	
先行水	必要 従来モルタルは質量に関係なく先行水が必要 先行水は汚水処理が必要 先行水は水であるモルタルや生コンの品質を低下させる。	必要 先行水は汚水処理が必要 先行水は水であるモルタルや生コンの品質を低下させる。	不要 先行水不要により廃棄量と生コンの品質低減が減少する 先行水使用も可能（P1 付録1-1参照）
施工性	先行水使用で 従来初期通し圧送速度	先行水使用で 従来初期通し圧送速度	先行水なしで生コン工場出荷 (0.5m ³ ～1.0m ³)と同じ従来初期通し圧送速度（P3 付録3参照）
使用可能時間	従来通り	従来通り	従来モルタルの2.5倍 現場において使用可能時間に余裕のある作業性
練り混ぜ	従来通り	従来通り	非常に練り混ぜ易く手練りでの現場作成が容易（練り混ぜ映像はホームページ掲載）
容積	従来通り	従来通り	それ以外のモルタルの容積1.5倍
品質	従来通り	従来通り	フロー、凝固時間、圧縮強度、曲げ強度、塩分含有量、静弾性係数、動弾性係数 (P5 品質管理データ参照)
性能	従来通り	従来通り	ピストン式26m/袋 スクイズ式32m/袋 ※水平配管換算距離(鉄管) ピストン式 生コン工場出荷0.5m ³ 比5.4～8倍 スクイズ式 それ以外のモルタル135kg比 2.25倍 生コン工場出荷0.5m ³ 比10.7倍 (P2 付録2参照)
経済性	1:3モルタル0.5m ³ 20,600円/m ³ ※大阪広域生コン協組単価表 (R5.4.1～)	セメント2袋、砂2袋 (合計2,000～5,000円)	コスト削減 最大90.3%、 産業廃棄物削減 最大97.1%、
廃棄量及び廃棄処理	モルタル0.5～1.0m ³ +先行水 →先行水は汚水処理が必要 (P1 付録1-3参照)	モルタル使用量+先行水 →先行水は汚水処理が必要 先行水使用により廃棄量が増加する。	従来先行モルタルと同じ 産業廃棄物削減 最大97.1% 廃棄物労力時間削減 最大98.1% (P4 産業廃棄物・廃棄物処理労力時間比較参照)
環境	233kg_co2	42kg_co2	7.58kg_co2 CO2削減 最大96.7% 産業廃棄物削減 最大97.1%

施工性「先行水・容積・練り混ぜ・性能・廃棄目安・廃棄処分」

新しい取り組みではあるが誰もが馴染みのあるモルタルなので受入れやすく、扱いやすい。

- 1. 少量の従来モルタル（それ以外のモルタル）でも先行水使用により初期通し圧送の際（従来モルタル生コン工場出荷。0.5~1.0m3 と同じ特に圧送速度＝ほぼスロー圧送）ができる。
- 2. 容積 1.5 倍増により、安心安全施工。使用袋数削減によるコスト削減が向上
- 3. 従来モルタルに比べスリックパワーモルタルは非常に練り混ぜ易く手練りでの現場作成が容易である。（スリックパワーモルタル使用施工手順 P8 作成方法・練り混ぜ参照、映像はホームページに掲載）先行水不要で少量でも、スリックパワーモルタルは従来モルタル生コン工場出荷 0.5~1.0m3 と同じ特に圧送速度＝ほぼスロー圧送に対応している。（P3 付録 3 参照）

尚、季節、打設内容に応じた先行水調整不要により技術負担も軽減。
先行水は使用後汚水処理が必要。汚水処理費、労力削減。先行水が廃棄物に混ざっていると廃棄に時間がかかるが、スリックパワーモルタルは、先行水不要なので廃棄処理時間短縮。

※注意事項

ポンプ機種は多機種にわたり、マニュアル操作が主流である。ポンプ 1 台に様々な個性の操作者（オペレーター）1 人がポンプを操作し圧送速度を決定している。初期通し作業時はスロー圧送だがポンプの性能違い、生コンの配合違い・管内清掃状態・打設状況・経験等を考慮し操作をしているため、一定のスロー圧送ではない。万が一スロー圧送で不具合が生じた場合は、よりスロー圧送をするか出来ない場合は 1 袋追加する事で スムーズな圧送が可能となります。

- 4. 廃棄目安及び廃棄方法
従来モルタルと同じ

経済性・社会環境・作業環境・廃棄量・廃棄処分

- ・コスト削減 最大90.3% 先行モルタル運搬のコンクリートミキサー不要のため
 - ・廃棄量削減 最大97.1% ミキサー車が 1 台目から生コン満載で打設が可
 - ・Co2削減 最大96.7% → 輸送による Co2 排出量 1 台分削減・生コン打設の時間短縮
- スリックパワーモルタルは、廃棄量が少なく、環境負荷の低減に大きく貢献

品質・性能

单体物性		試験・検査項目	単位	試験方法	品質基準	試験結果
		フロー	mm	JIS A 1150	330±40	335
凝固時間	始発	時間	JIS R 5210		1:00 以後	6:00
	終結	時間			10:00 以内	8:30
圧縮強度	材齢 1 日	N/mm ²	JIS R 5201		平均 8.0	8.4
	材齢 7 日	N/mm ²			平均 28	28.6
	材齢 28 日	N/mm ²			平均 40	42.7
曲げ強度	材齢 1 日	N/mm ²	JIS R 5201		平均 2.5	2.8
	材齢 7 日	N/mm ²			平均 6.0	6.5
	材齢 28 日	N/mm ²			平均 7.5	7.9
		塩化物含有量	kg/m ³	JIS A 1144	0.30kg/m ³ 以下	0.0021

生コンにスリックパワーモルタルが混入時の耐久性

圧縮強度、静弾性係数、動弾性係数、促進中性化、凍結融解試験
(P5 スリックパワーモルタル品質管理データ参照)

性能 1 袋当りの能力… ピストン式 26m スクイズ式 32m 2024.9 現在

水平配管換算距離（鉄管）(P2 付録 2 参照)

荷姿



サイズ：縦 57 cm
横 38 cm
高さ 5.5 cm
荷 姿：重量 20 kg



練り混ぜ専用ペール缶
蓋、8.5φ目盛付練り混ぜ
専用透明ペール缶
サイズ：27φペール缶

スリックパワーモルタル使用施工手順

使用量目安

ブーム打設

ホッパー投入	4t以下 スクイーズブーム	スリックパワーモルタル 1袋
	8tピストン式 ブーム	スリックパワーモルタル 3袋～4袋
曲がり管 T字管投入	8tピストン式 ブーム	スリックパワーモルタル 2袋～3袋

(注4) ※2024.9 現在の目安 コンクリート配合、打設内容、配管内状態により異なります。
ゴム製配管(ドッキング) 通常3mは、負荷が鉄製配管の3倍かかります。よって配管距離
計算時、ドッキング1本使用につき、3m×3倍=9mの鉄製配管m数で計算してください。
先端ゴムホースも同様で8m×3倍=24mの鉄製配管m数で計算してください。
※ベント管1060R=1.6m 500R=0.8m 350R=0.6m

ホッパー投入時の注意事項(注1)

T字管・曲がり管投入の 注意事項

配管打設の注意事項(注3)

ホッパー投入し、正転にて先送りしてもピストン式の構造上スリックパワーモルタルが少量残ります。
残スリックパワーモルタルを吸わせ方手順で先行させることにより圧送距離が伸びます。
吸わせ方に慣れるまでは1袋多めの使用をお勧めします。

※スリックパワーモルタル使用施工手順 (P12 T字管・曲がり管投入ポイント 参照)

※配管打設においては、配管内の汚れがあると判断された場合は1袋多めの使用をお勧めします。

配管打設

ブームの使用・未使用 ☐ 未使用 ☐ 使用 使用の時 袋①
※①上記ブーム打設の表を参照のこと

配管距離算出

ブーム先のドッキングホース__m+テーパー管(鉄管)__m+鉄管__m+ドッキングホース__m +
先端ホース__m =総延長距離__m (注4)(※ブーム先端のドッキングホースも含めて計算してください)

スリックパワーモルタル:1袋当たり能力...ピストン式 26m スクイーズ式32m
(20kg入り) 水平配管換算距離(鉄管) 付録2参照 ※2024年9月現在の目安

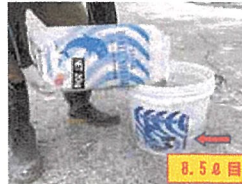
ポンプ車整備・コンクリート配合・打設内容によって変わります。

使用袋数 袋② ※水平配管換算距離(鉄管)

【使用数量=総延長距離÷1袋当りの圧送距離(上記赤字参照)で袋数を算出】

①+②=使用袋数 袋 ※上記(注1)+(注3)を考慮して 総使用袋数 袋

スリックパワーモルタル作成



使用可能時間

従来モルタルの 2.5 倍

① 先行水不要なので
ポンプ車内管内の水を抜く

先行水使用も可能
P1 付録 1-1 参照

② スリックパワーモルタルを
希釈水 8.5φ に入れる

スリックパワーモルタル	水
20kg	8.5φ

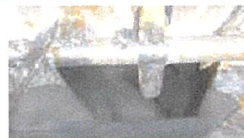
③ 手練り開始 30 秒～ 60 秒で
作成完了

→(練り混ぜ映像をホームページに掲載)

作成完了 5 分以内にフローが低減した場合
再度練り混ぜを行う。

スリックパワーモルタル投入

ホッパー投入



ホッパーにスリック 正転にて先送りしスリック
パワーモルタルを投入 パワーモルタルを先行させる

ホッパー投入し、正転にて先送りしてもピストン式の構造上スリック
パワーモルタルが少量残ります。残スリックパワーモルタルを吸わせ方
手順で先行させることにより、圧送距離が伸びます。

※スリックパワーモルタル使用施工手順
(P11 ホッパー吸わせ方手順 参照)

投入完了



生コン投入圧送開始

(P3 付録 3 参照)

T字管・曲がり管投入



T字管投入

曲がり管投入

※スリックパワーモルタル使用施工手順
(P12 T字管・曲がり管投入ポイント 参照)

【 付録 1-1 】

◆ 先行水使用の場合 ◆

先行水使用の場合は、スリックパワーモルタル1袋に対して先行水0.8ℓ～1.0ℓ

【 ホッパー投入時の先行水の入れ方 】

ホッパーにスリックパワーモルタルと先行水を別々に投入する。

【 T字管・曲がり管投入時の先行水の入れ方 】

T字管又は曲がり管投入口より、スリックパワーモルタルと先行水を別々に投入する。

【 付録 1-2 】

【 先行水使用時のデメリット 】

先行水は、従来モルタルにとっては、必要不可欠通し作業において配管の湿潤効果及び流動性を高める効果がある。

だが 水量を誤ると閉塞を引き起こす要因になる。

少量の従来モルタル(それ以外のモルタル)は先行水により、モルタル自体及び先端コンクリートの品質を著しく低下させる。

生コン工場出荷モルタルの場合、水量を誤ると閉塞を引き起こす要因になる。

質量が多いので廃棄量増大、コストも高騰、圧送中において、従来モルタルと生コンクリートとの混ざりは度合いは、普通なので圧送するコンクリートが悪いとモルタル通過後、特にテーパー部分で閉塞する。

【 付録 1-3 】

【 先行モルタルの0.5m³先行水と移動処理 】

ポンプ打設全般の回収方法の一例として配管、高層階のコンクリート打設等においては、先行水を含めてトロ箱やトン袋などで廃棄モルタル等を回収する為、クレーン等で下ろすにしても、水があると即時移動処理が行えない。それにより水がひくのを待つて移動処理しなければならない。

【 付録 2 】

ピストン式

8t(28m)ブーム使用 配管15本(鉄管)テーパー管(1m)先端ホース(7m)

$28+10+45+1+21=105\text{m}$ 総延長距離

スリックパワーモルタル T字管投入 4袋使用

モルタル0.5m³(生コン工場出荷)と比較

スクイーズ式

2t(14m)ブーム使用 配管18本 先端ホース(8m)

$14+5+54+24=97\text{m}$ 総延長距離

スリックパワーモルタル ホッパー投入 3袋使用

それ以外のモルタル 135kg と比較

モルタル0.5m³(生コン工場出荷)と比較

性能は使用実績より使用量比(容積)、圧送距離を算出

ピストン式 ・モルタル0.5m³(生コン工場出荷) 5.4~8倍 使用量比(容積)

スクイーズ式 ・モルタル0.5m³(生コン工場出荷) 10.7倍 使用量比(容積)

・ それ以外のモルタル 2.25倍 粉体比較

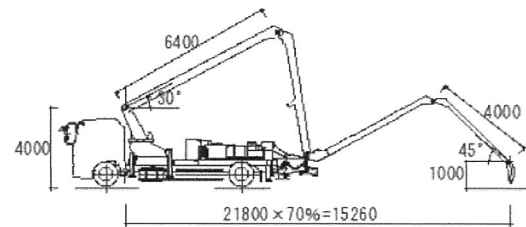
スリックパワーモルタル1袋あたり・・・ ピストン式 26m

スクイーズ式 32m 水平配管換算距離(鉄管)

【 付 録 3 】

コンクリートポンプの概要

形式		極東115-26
ポンプ	方式	ピストン式
	最大吐出量	100m ³ /h 70m ³ /h
	最大吐出圧力	5.6MPa 7.8MPa
	シリンダ径	Φ 205 × 1650mm
	ホッパー容量	500L
ブーム	形式	4段屈折式
	最大地上高さ	25.8m
	最大長さ	21.8m
	配管径	125A

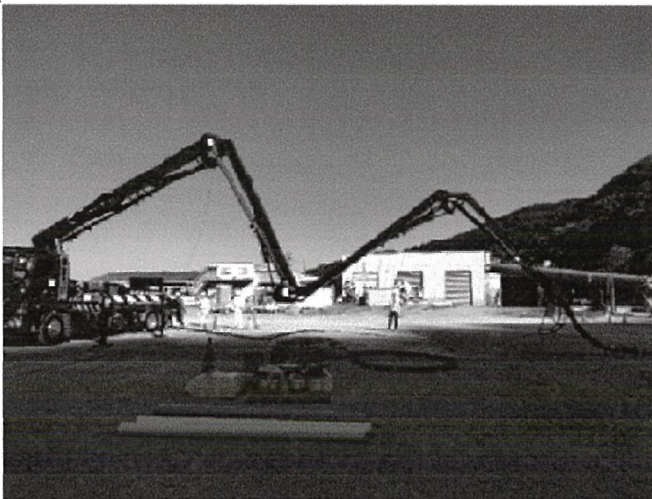


(a)ブーム姿勢 M 形

実験時のポンプブーム状況

- 1) ブームの水平到達距離をブーム全長(カタログ値)の70%とする。
- 2) 先端ブーム先端の地上高さを1.0mとする。
- 3) 第1ブーム先端の水平位置、最終ブーム根元の水平位置を四則電卓でも求められるように、それぞれブームの角度を30° 45° 60° 90° のいずれかとする。
- 4) 最終ブームの角度をいずれのコンクリートポンプも45° とする。

ブーム先端の輸送管に接続したドッキングホース(3m)と筒先までのフレキシブルホース(8m)の間に長さ1.2mのテーバ管を設けた。



圧送速度

バルブを最大に開いた状態でエンジン回転数をアイドリング状態として圧送した。

近畿地区先行モルタル(生コン工場出荷)0.5m³を用いた初期通し圧送速度及び近畿地区における最大台数のポンプ機種で実地テストを行い、対応した商材である。
尚、全国平均初期通し圧送速度よりも近畿地区の初期通し圧送速度は、若干早い方である。

産業廃棄物・廃棄物処理労力時間比較

◎ 産業廃棄物量比較

★先行モルタル0.5m³

★スリックパワーモルタル1袋

モルタル 0.5m³

汚水 0.03m³

合計0.53m³

合計0.0156m³

産業廃棄物 最大97.1%削減

◎ 産業廃棄物処理労力時間比較

★先行モルタル0.5m³

★スリックパワーモルタル1袋

汚水処理・廃棄モルタル
現場内置き場移動240分
モルタル0.5m³をバックホウにて粉碎
2tタンクに積み込む迄 30分

スリックパワーモルタルを
ペール缶に採取1個分
廃棄モルタル現場内置き場(バケツ)移動

全行程 270分

全行程 5分

廃棄物処理労力 最大98.1%削減

スリックパワーモルタル品質管理データ

1. スリックパワーモルタル単体物性検査
2. 生コンにスリックパワーモルタルが混入時の耐久性

1. スリックパワーモルタル単体物性検査

〈試験結果〉

試験・検査項目		単位	試験方法	品質基準	試験結果
フロー		mm	JIS A 1150	330±40	335
凝固時間	始発	時間	JIS R 5210	1:00 以後	6:00
	終結	時間		10:00 以内	8:5
圧縮強度	材齢 1日	N/mm ²	JIS R 5201	平均 8.0	8.4
	材齢 7日	N/mm ²		平均 28	28.6
	材齢 28日	N/mm ²		平均 40	42.7
曲げ強度	材齢 1日	N/mm ²	JIS R 5201	平均 2.5	2.8
	材齢 7日	N/mm ²		平均 6.0	6.5
	材齢 28日	N/mm ²		平均 7.5	7.9
塩化物含有量		kg/m ³	JIS A 1144	0.30kg/m ³ 以下	0.0021

2. 生コンにスリックパワーモルタルが混入時の耐久性

基準コンクリート

配合	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)					混和剤 (kg/m ³)
			W	C	S1	S2	G	Ad
	50.0	46.4	180	360	356	453	956	3.6

〈試験結果〉

	見掛け密度	動弾性	圧縮強度	静弾性
基準コンクリート	2.38	39.7	44.6	33.1
スリックパワーモルタル 0～50ℓ	2.37	40.0	44.2	34.2
スリックパワーモルタル 50～100ℓ	2.37	39.4	45.8	32.8

スリックパワーモルタル使用施工手順

1. 使用量目安
2. 作成方法・練り混ぜ
3. スリックパワーモルタル ホッパー投入と吸わせ方手順
4. スリックパワーモルタル T字管及び曲がり管投入ポイント

1.使用量目安

ブーム打設

ホッパー投入	4t以下 スクイーズブーム	スリックパワーモルタル 1袋
	8tピストン式 ブーム	スリックパワーモルタル 3袋～4袋
曲がり管 T字管投入	8tピストン式 ブーム	スリックパワーモルタル 2袋～3袋

※2024.9 現在の目安 コンクリート配合、打設内容、配管内状態により異なります。

ホッパー投入の注意事項 (注1)

ホッパー投入し、正転にて先送りしてもピストン式の構造上、スリック
パワーモルタルが少量残ります。残スリックパワーモルタルを
吸わせ方手順で先行させることにより、圧送距離が伸びます。
吸わせ方に慣れるまでは1袋多めの使用をお勧めします。

※別紙ホッパー吸わせ方手順を参照

T字管・曲がり管投入の 注意事項 (注2)

※別紙T字管・曲がり管投入ポイント参照

配管打設の注意事項 (注3)

配管打設においては、配管内の汚れがあると判断された場合は
1袋多めの使用をお勧めします。

配管打設

ブームの使用・未使用

☐ 未使用 ☐ 使用

使用の時 _____ 袋 ①

※①上記ブーム打設の表を参照のこと

配管距離算出

ブーム先のドッキングホース _____ m + テーパー管(鉄管) _____ m + 鉄管 _____ m + ドッキングホース _____ m +
先端ホース _____ m = 総延長距離 _____ m (注4) (※ブーム先端のドッキングホースも含めて計算してください)

スリックパワーモルタル: **1袋当たり能力… ピストン式 26m スクイーズ式32m**
(20kg入り)

水平配管換算距離(鉄管) 付録2参照 ※2024年9月現在の目安

ポンプ車装備・コンクリート配合・打設内容によって変わります。

使用袋数 _____ 袋 ② ※水平配管換算距離(鉄管)

【使用数量=総延長距離÷1袋当りの圧送距離(上記赤字参照)で袋数を算出】

①+②=使用袋数 _____ 袋 + 上記(注1)+(注3)を考慮して **総使用袋数** _____ 袋

(注4)

ゴム製配管(ドッキング)通常3mは、負荷が鉄製配管の3倍かかります。よって
配管距離 計算時、ドッキング1本使用につき、3m×3倍=9mの鉄製配管m数
で計算してください。先端ゴムホースも同様で8m×3倍=24mの鉄製配管m数
で計算してください。

※ベント管1060R=1.6m 500R=0.8m 350R=0.6m

2. 作成方法・練り混ぜ

練り混ぜ映像はホームページに掲載

3.スリックパワーモルタル ホッパー投入と吸わせ方手順

《ステップ1》

先行水不要

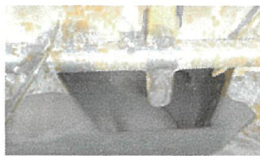
の場合

使用前確認

水は厳禁。ポンプ車・配管・ホースに水が残っていないか確認する!!

《ステップ2》

【ホッパー投入編】



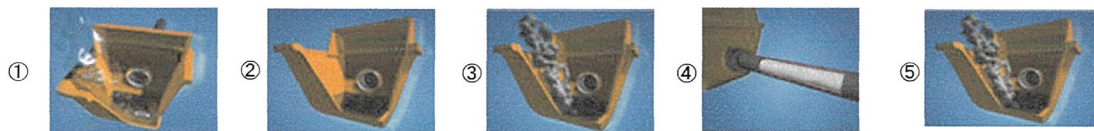
初期圧送には、先行剤であるスリックパワーモルタルが、生コンより先行する必要があります。（生コンが先に送られてしまう場合は先行剤なしで圧送したことと同じになり、閉塞の原因になります）

ホッパー投入したスリックパワーモルタルを生コンより先に送る為には、

(1)スリックパワーモルタルを先に送る

(2)ホッパーに残った少量スリックパワーモルタルを全て先に送ることが重要になります。

ホッパー投入と吸わせ方手順



①ホッパー内にスリックパワーモルタルを投入し、正転開始。

②吸わなくなったら正転停止。ピストンの構造上スリックパワーモルタルがホッパー内に少量 残る。※ホッパー内に残ったスリックパワーモルタルをコンクリートシリンダーに吸わせている途中にS管が切り替わればスリックパワーモルタルを生コンより先行できなくなる為、ピストンは吸込み口コンクリートシリンダー手前で停止するのがベスト。

③ホッパー内に生コンをゆっくり投入する。生コンでスリックパワーモルタルを押し上げて、押込む様にコンクリートシリンダー吸い込み口に誘導する。

④スリックパワーモルタルが吸い込み口を覆いかぶさるあたりで生コン投入を停止し、正転開始。スリックパワーモルタルを吸わせる。吸い込まなくなったら正転停止、再度生コンをゆっくり投入しパワモルを誘導。

⑤吸えそうになったら正転開始、生コンがコンクリートシリンダー内に入る直前にS管を切り替えるのがベスト。

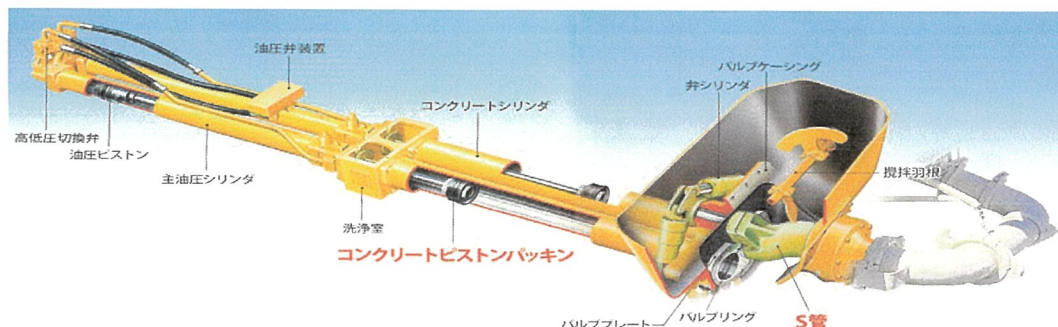
※生コンでスリックパワーモルタルをコンクリートシリンダー内に誘導する際、生コンがコンクリートシリンダー先端部分に少量入っても圧送に支障はない。S管の切り替わりによってコンクリートシリンダー内に吸い込まれずホッパー内に残ってしまった場合は、生コン投入を停止し、次回吸い込まれる逆コンクリートシリンダー吸い込み口側に30秒程で集まるので、再度吸わせ方手順を行う。

先行水使用の場合

- ① 先行水使用量（スリックパワーモルタル1袋20k g に対し 0.8～1.0 ℓ）
- ② ホッパーにスリックパワーモルタルと先行水を別々に使用袋数分投入
- ③ 正転にて先行水とスリックパワーモルタルを送る。別々の状態でも構わない。ホッパー内に少量残るが、上記吸わせ方手順で生コンより先行させる。

4.スリックパワーモルタルT字管及び曲り管投入ポイント

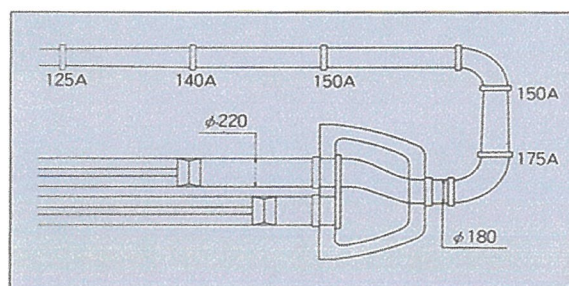
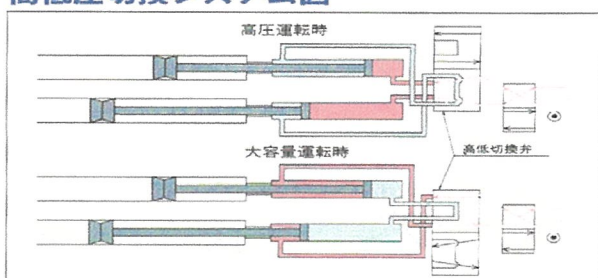
先行水不要の場合



- ① 正転でS管の切換えを10秒以上にセットする。
- ② S管が切換わり、10秒セット時なら**9秒**、11秒セット時なら**10秒**、12秒セット時なら11秒で停止（ピストンパッキンがS管寄りの停止状態）
- ③ **S管の右側**から生コンをゆっくり投入し生コンがS管を乗り越えて左側の下方まで来た時、生コンの投入をストップする。
※ウェアプレート、ウェアリングが消耗し、交換直前の場合、T字管及び曲がり管よりパウモルを投入してもウェアプレート、ウェアリングの間からスリックパワーモルタルが漏れてホッパー内に流れ出る恐れのある場合、ウェアプレート、ウェアリングが隠れる位まで生コンをホッパー内に投入していればスリックパワーモルタルを投入しても漏れてこない。
- ④ スリックパワーモルタルをT字管及び曲り管より投入。スリックパワーモルタルが入りづらくなると、逆転を引く。**（リモコンの逆転ボタンを、指で“チョンチョン”で、約1秒位）**
ピストンパッキンがS管寄りに停止しているので8回～10回までは逆転が可能。
S管の切換わり（逆転の引き過ぎ）に注意。投入後は正転はしない。
- ⑤ 生コンを投入、圧送開始。



高低圧切換システム図



先行水使用の場合

【 T字管投入時】

- ① 先行水使用量(スリックパワーモルタル1袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ)
- ② スリックパワーモルタルを投入する
- ③ T字管投入口より先行水(スリックパワーモルタル袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ) を使用袋数分投入し完了

【 曲がり管投入時】

- ① 先行水使用量(スリックパワーモルタル1袋20kgに対し0.8～1.0 ℓ)
- ② 曲がり管を切り、先にスリックパワーモルタルを投入する。
- ③ 先行水(スリックパワーモルタル1袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ) を使用袋数分投入し完了

新スリック・パワーモルタル 施工実績(1)

(株)ケミウスジャパン

	工事名	発注者	元請	設計事務所	工期	備考
1	(仮称)リコット安城今池新築工事	(株)フジケン	大啓建設(株)	(株)岡田建築 計画事務所	2023/6/1～ 2025/3/31	愛知県
2	(仮称)市営大樹寺住宅新築工事(第1工区)	岡崎市都市基盤 部住宅計画課	丸ヨ建設工業 (株)		2023/9/29～ 2025/7/31	愛知県
3	イヅミ工業(株) 石浜工場BCP対策工事		小原建設(株)			愛知県
4	るんぴにー保育園新築工事	社会福祉法人謝 徳会	小原建設(株)			愛知県
5	日鉄精圧品(株) 加工場増築		岐建(株)			愛知県
6	ReHOPE大高 新築工事	(株)シーユー シー・ホスピス	大和ハウス工業(株)	大和ハウス工業株式 会社中部流通一級建 築士事務所	2024/6/24～ 2025/2/14	愛知県
7	東陽倉庫(株)知多倉庫 新築工事	(株)東陽倉庫	大和ハウス工業(株)		2023/12/～	愛知県
8	則武一丁目プロジェクト 新築工事		大和ハウス工業(株)	大和ハウス工業株式 会社中日本中高層一 級建築士事務所	2024/2/13～ 2025/6/6	愛知県
9	平和堂 守山茶臼前店 新築工事	株式会社平和堂	ウイルビー(株)		2024/4/～	愛知県
10	三和製作本社工場デッキ新設工事		太啓建設(株)			愛知県
11	豊田工業高専寄宿舎新営工事	豊田工業高等専 門学校	太啓建設(株)		2024/6/24～ 2025/2/14	愛知県
12	リコット安城今池 新築工事	(株)フジケン	太啓建設(株)	岡田建築計画 事務所		愛知県
13	リコット豊田元城 新築工事	(株)フジケン	太啓建設(株)			愛知県
14	白鳥橋ポンプ所構内整備工事		(株)タクミ創建			愛知県
15	TOSHO BUILDING 新築工事		(株)永光			愛知県
16	ベシシア長久手店(仮称)工事	(株)ベシシア	佐伯総合建 設(株)	(株)上野山都市設 計	2024/8/1～	愛知県
17	瑞穂区松栄町プロジェクト 新築工事	株式会社ジェネラ ス	(株)松村組	株式会社森川建 築設計事務所	2023/7/1～	愛知県
18	モアグレース春岡 新築工事	株式会社エム ジーホーム	(株)長瀬組	(株)KANADE設 計	2023/7/14～ 2025/3/31	愛知県
19	若林高架本線土木工事	名古屋鉄道(株)	矢作建設工 業(株)			愛知県
20	サムティ名古屋市千種区今池南Ⅱ新築工事	サムティ株式会 社名古屋支店	(株)山本工務店	株式会社日企設 計	2024/3/15～ 2025/4/30	愛知県
21	日進省力機工業 新工場 新築工事	日進省力機工業 (株)	(株)山本工務店			愛知県
22	知多総合庁舎 新築工事	愛知県建設局	鈴中工業(株)	株式会社久米設 計 名古屋支社	～2025/6	愛知県
23	御津成山新田 堤防護岸補修工事(その4)	兵庫県西播磨県民 局竜野土木事務所	(有)人和			兵庫県
24	国道2号神戸第3共同溝工事	国土交通省近畿地方整 備局兵庫国道事務所	大喜建設(株)			兵庫県
25	広域営農団地農道整備事業 能登外浦4期地区 千代・中田トンネル工事	石川県奥能登農林 総合事務所	安藤ハザマ・宮 下・森土木JV		2022/12/20～ 2026/3/10	石川県
26	すさみ串本里野A2下部工工事	国土交通省近畿地方整 備局紀南河川国道事務 所	矢作建設工業 (株)		2023/4/1～ 2025/1/17	和歌山県
27						
28						
29						
30						